国公私立大学の職員が大学の壁を越えて交流する

第35回大学職員セミナー

大学職員の可能性を広げよう

――大学のグローバル化を牽引する職員を目指して（第1回）――

日　時　2017年７月14日（金）13時～17時
会　場　法政大学市ヶ谷キャンパス（ボアソナードタワー26階スカイホール）
主　催　公益財団法人大学セミナーハウス
協　賛　公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩

近年、日本の大学にはグローバル化の波が急速に押し寄せています。産業界からのグローバル人材“育成”の要請、文部科学省による大学グローバル化事業の推進があり、大学は自身のディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づき、人的・物的リソースを用意のうえ、それぞれがグローバル化政策をたて、様々な教育プログラムを立ち上げ、日本人学生の海外派遣、外国人留学生の迎え入れを進めています。また、多くの大学は国際部や国際連携部、グローバル教育センターといったグローバル化のための組織を整備しているところです。

本セミナーでは大学のグローバル化の意味と、そこでの大学職員の役割を考えます。海外、特にアジアの高校、大学を回ると多くの日本の大学からアプローチがあることを聞きますし、目にします。アジア諸国の若者には、日本に限らず留学志向が強くあることを目の当たりにすることができ、その学びに対する貪欲さ、真摯な眼差しに心奪われる瞬間もしばしばあります。一方、日本人学生はどうでしょうか？　大学のグローバル化推進の一環で正課授業に短期の留学や海外でのフィールドワーク等が採り入れられ、「見かけ」の海外留学件数は増えているものの、各種メディアで「日本人の内向き志向」が伝えられるのは、海外への送り出しプログラムや仕組みがまだまだ未成熟で、若者たちが主体的に海外から何かを学び取ろうとする動機付けの機会が整備されていないからかもしれません。また、外国人留学生の迎え入れと日本人学生の海外派遣のバランスをいかにとって、どのようにキャンパスのグローバル化を推進するのかも各大学における課題であると言えるのではないでしょうか。

こうした現実のもと、個々の大学に問われるのは「グローバル化政策」をどのように構築するかです。それには、キャンパスの中で学生に直に接している職員の役割が重要です。また、海外での学生リクルート活動やプログラム開拓における職員の役割も大きなものがあるはずです。

今年度の大学職員セミナーは、こうした問題認識のもとで、実際に大学のグローバル化を牽引している職員の方を講師に迎え、大学のグローバル化と職員の役割について考えます。

第１回は立命館大学から宮下明大氏（立命館・東京キャンパス所長）を迎え、立命館大学および立命館アジア太平洋大学が取り組んできたグローバル化戦略と、そこで果たす職員の役割についてお話しいただきます。立命館大学・立命館アジア太平洋大学は、近年強力な方針のもとでアジアからの留学生を急増させるとともに、海外大学とのダブルディグリープログラムなど、教育プログラムの開設を積極的に進めていることで皆さんが注目している大学です。当日は海外学生の受け入れに関する戦略を中心にお話しいただく予定です。また、宮下氏の講演に引き続き、簡単なディスカッションをワールドカフェ方式で行い、各大学の悩みを少しでも解消する場を設定することを計画しています。

■講演

グローバル時代の学生募集―アドミッションのマインドとサイクル―

宮下明大氏（立命館・東京キャンパス所長）

「大学のグローバル化」。各大学のミッションは異なりますが、私たち大学職員が必要な汎用的な知識や力量とは何でしょうか。組織を整備することも、エビデンスを揃えることも重要ですが、マインドとして大学を良くしたい、社会をよりよく発展させたいと想う気持ちや、具体的に汗を流して得る経験から、課題を発見し解決していく能力を持つことがグローバル化を牽引するためには必要だと思います。今回の講演では、特に海外からの学生受入に関して、国内での学生募集戦略を下敷きに、どのように留学生マーケットの独自性を分析し、現場から情報を得て、大学の政策として練りあげ、アドミッションのサイクルをまわしていくかについてお話しします。

講師のプロフィール

1965年大阪生まれ。1989年日本福祉大学社会福祉学部卒業、2003年日本大学大学院修士課程修了（人間科学）。大手予備校で営業、受験情報誌の企画・編集、生徒の受験指導などの業務を経験し、1996年から立命館大学に勤務。財務部、就職部、入学センター、教学部を経て、2007年よりAPU事務局勤務。APUでは事務局次長としてアドミッション全般を統括。2010年立命館大学に戻り、社会連携部、キャリアセンター、入学センター。2016年5月から立命館東京キャンパス所長。主な職務と関心分野は、「高大連携・接続」「AO入試」「進路相談・ガイダンス」「学生募集」「若年者のキャリア形成・支援」「自己効力感」「社会連携・地域連携」など。所属は、日本キャリア教育学会、日本キャリア開発協会CDA会員。キャリアコンサルタント（国家資格）として高校生・大学生など若年層の進路相談、キャリア形成・就職支援なども行っている。

スケジュール

13時00分	開会
13時10分～14時40分	基調講演：宮下明大氏（立命館・東京キャンパス所長）
14時50分～17時00分	ワールドカフェ方式によるディスカッション
17時00分～17時30分	報告・閉会

募集要項

定　　員：120名(先着順)
参加対象：大学の教職員
参 加 費：2,000円（セミナー終了後の参加自由の情報交換会費は3,000円を予定しています。）
申込方法：大学セミナーハウスのホームページ（https://iush.jp/）の申込フォームからお申込みください。
申込締切：2017年7月７日(金)
お問合せ：公益財団法人大学セミナーハウス・セミナーグループ
TEL.042-676-8532／FAX.042-682-2601
E-mail seminar-g@seminarhouse.or.jp

企画委員

＜委員長＞近藤　清之　　法政大学常務理事
青木加奈子　　高崎経済大学研究グループ研究支援チーム
岩﨑　宏政　　明治大学社会連携事務室事務長
大久保陽造　　中央大学入学センター入学企画課課長
山本　眞一　　桜美林大学大学院・大学アドミニストレーション研究科教授

最寄駅から会場(法政大学)までのアクセス

【JR線】
総武線：市ヶ谷駅・飯田橋駅下車徒歩10分
【地下鉄線】
・都営新宿線：市ヶ谷駅下車徒歩10分
・東京メトロ有楽町線：市ヶ谷駅・飯田橋駅下車徒歩10分
・東京メトロ東西線：飯田橋駅下車徒歩10分
・東京メトロ南北線：市ヶ谷駅・飯田橋駅下車徒歩10分
・都営大江戸線：飯田橋駅下車徒歩10分

◆ 開 催 予 告 ◆

第36回大学職員セミナー
大学職員の可能性を広げよう
―大学のグローバル化を牽引する
職員を目指して（第2回）―
日　時：2017年11月24～25日（金～土）
会　場：大学セミナーハウス（東京都八王子市）

大学セミナーハウス
INTER-UNIVERSITY SEMINAR HOUSE